



EG おおさかな
場所やひとをご紹介します

EG OSAKA

大阪府を中心に「産学公民金」が連携した企業の「発掘と育成」に取り組む、大阪版エコノミックガーデニング「EG おおさか」。EG なキーパーソンや支援機関の取組みなど、毎月広域な視点でご紹介します。

EG でいこう!



(右上) 学生が企画した「苺木パナホップ」
(右下) 「里山プロジェクト」では苺木の山間部から採取した苗木をキャンパスに植樹

垣根を越えたコミュニケーションから生まれる「地域連携」の新しいカタチ。

今年4月に開設した、立命館大学 大阪いばらきキャンパス（以下OIC）。経営学部および経営学研究科、政策科学部および政策科学研究科、テクノロジー・マネジメント研究科、経営管理研究科が移転し、来年4月には総合心理学部の設置を構想している。OICでは堀を設けず、市民が気軽に立ち寄り、学生がいつでもキャンパスを飛び出すことのできる「開かれたキャンパス」を目指している。その象徴ともいえる存在が「立命館いばらきフューチャープラザ」だ。各種ホール、図書館、レストラン、研究・産学連携施設などを整備。商工会議所が、全国で初めて大学内に入居し、学問とビジネス・産業、行政の連携を進める。「文系の産学連携事例として、学生のアイデアを取り入れた商品や街のデザインなどを考えている。それと人材育成。学生も企画から入ることで、コミュニケーション力が育まれていきます」（苺木商工会議所・木村正文専務）。キャンパス開設を機に開催された「いばらき×立命館 DAY」では、早くもそれが実践された。当日発売されたソフトクリーム「苺木パナホップ」は、企画から販売までを立命館の学生が担当し、苺木商工会議所とソフトクリームを日本に初めて紹介した株式会社日世（本社苺木市）、サッポロホールディングス株式会社が共同開発。今後も苺木産の食材を使った名物の開発を予定している。産学連携では、仲を取り持つコーディネーターの役割が極めて重要になるが、商工会議所とともにそれを担うのがOICのリサーチオフィスだ。同オフィスの使命は、まさに産学連携、共同研究・受託研究支援の二本柱。「今はどのような分野のニーズとシーズを、どうマッチングさせるか、方向性を探っている段階です」（飯田正志課長）。その試みとして、商工

会議所で月1回開催する、経営に関するワンストップ相談会に、立命館大学が協力する形でOB 弁理士を紹介したことで、「知的財産相談」コーナーが今年度より新設されることになった。「地域・社会に開かれたキャンパス」をコンセプトに地域連携課も設けられ、構内には市民と学生の交流を生み出す仕掛けが用意されている。2012年に開始した「里山プロジェクト」や2014年春に発足の「ガーデニングプロジェクト」は、キャンパスの10年、20年先を見据えた活動として、すでに大勢の地域住民が参加。「里山プロジェクト」は、失われつつある苺木の里山の構成種を採取し、植栽・再生するというもの。「時間経過とともに移り変わる里山の過程を体験する。そういった体験ができるのは大学のメリット」（政策科学部・服部利幸教授）。参加者がライブラリーを育てていく市民主導の「まちライブラリー」も含めたこれらのプロジェクトは、立場や世代を超えてコミュニティをつくり、交流を通じて新たな潮流を生み出す可能性を秘めている。地域と大学、企業と大学、学生と市民がつながることによって大きな力を発揮し、このエリアが地域創生の牽引力になっていく。

苺木商工会議所
http://www.ibaraki-cci.or.jp/
苺木市岩倉町 2-150 立命館いばらきフューチャープラザ 1F
TEL 072-622-6631

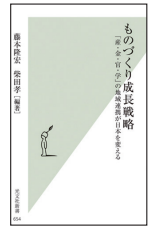
立命館大学 OIC リサーチオフィス
TEL 072-665-2570
立命館大学 OIC 地域連携課
TEL 072-665-2550
http://www.ritsumeikai.ac.jp/rs/rs2020/campus/oic/
苺木市岩倉町 2-150 立命館大学 大阪いばらきキャンパス (OIC)

SELECT at LIBRARY

EGのキーワードのひとつが地域の図書館との連携。公共図書館として日本一の蔵書数を誇る府立中央図書館と、ビジネスや大阪関連の資料を強みとする府立中之島図書館の両司書が、ものづくりに関する全ての人へオススメの所蔵本をご紹介します。

地域の人材を活用したものづくり改善運動

「ものづくり成長戦略」
編著：藤本隆宏・柴田孝
光文社



ものづくり現場改善のインストラクターを核とした、地域連携活動を紹介しています。副書名に「産・金・官・学」の地域連携が日本を変える」とあり、EG 理念と重なる部分も…。活動の参考のために一読してはいかがでしょうか。



西尾 恵一氏

大阪府立中央図書館
東大阪市荒本北

イノベーションを起こすマネジメント

「技術を武器にする経営」
日本企業に必要な MOT とは何か
著者：伊丹敬之・宮永博史
日本経済新聞出版社



高い技術を持ちながらも、なぜイノベーションを起こす企業と起こせない企業があるのか？ 技術は顧客の望むものを提供する手段という基本にたちかえり、技術力を活かしてイノベーションを起こし、利益を上げるための MOT (技術経営) の考え方を紹介。次の「変革と挑戦」に備えて!



小笠原 弘之氏

大阪府立中之島図書館
大阪市北区中之島

※10月までリニューアル工事中。予約本受取は可能。

MOBIOの常設展示場で会いましょう

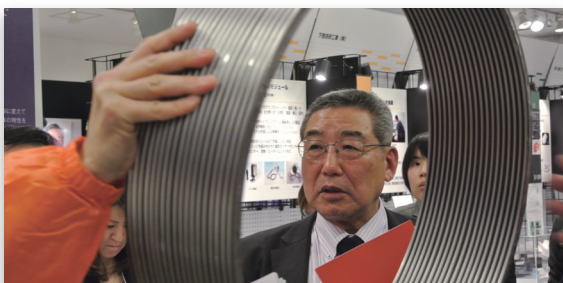


モビオカフェミーティング ログ

ものづくり企業の情報交換と交流の場！
来て！見て！話して！ゆるくつながりましょう。
話せばわかるの精神で、
まずは参加者同士知り合うのが近道。

Blog も見てね

http://www.m-osaka.com/mobioblog/



企画展「試作・小ロット製造技術展」

各社のパネルと実物を展示した企画展は、めいばい多めの10社のプレゼン。展示場では「企画展」として、年に数回、特設のコーナーを設営している。新時代の小回り技術は「提案型ものづくり」ということで、図面なしでも製作可能なほど、気の利く技術を持つ企業の発表であった。写真は三元ラセン管工業株式会社の大きなベローズ、すべてオーダー品。

3/4 UP DATE



株式会社アイテックの iGurafen

試作・小ロット企画展からもう一社。
熱伝導に優れ、人に優しい iGurafen (アイグラフェン) を試作品で提供。株式会社アイテックは熱伝導に加え電気電導性、磁気シールド性にも優れているグラフェンの量産に成功。この炭素素材 iGurafen をゴムや樹脂、接着剤に添加して特性を持たせることができるため、加工専門の企業とコラボして用途開発を進めたいとのこと。

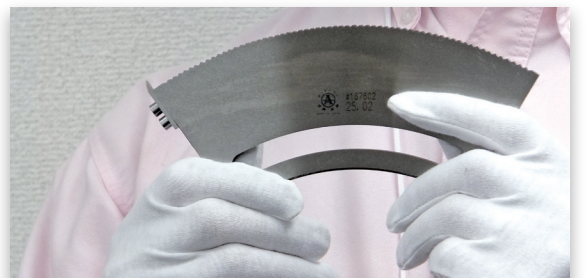
3/4 UP DATE



溶けやすい純銅の積層焼結金網?!

日刊工業新聞に「純銅の積層焼結金網」の記事が載った小段金属株式会社からのプレゼン。焼結金属とは、金属製の粉末を溶融点前後の温度で焼き固めたもので、粉同士の点接触で繋がるので耐久性が高くなる。このような粗めの粒状の金属を焼結させた部品で「金属フィルター」にし、ゴミを除去したり音を吸収したりする用途がある。

4/9 UP DATE



初の試み! 門真市出張ミーティング

門真市とタイアップで実現した出張 MOBIO-Cafe Meeting。京阪の門真市駅すぐ近くにオープンした「門真市中小企業サポートセンター分室」での開催。まさかの立ち見参加者で溢れた、熱気のあるプレゼンと交流会になった。

- 株式会社山田製作所 (常設展示中)
「ワイドクル」見える工程管理ボードは着手日などの情報共有化できる。
- 株式会社松永製作所 (常設展示中)
深絞りプレス加工・ロール加工で消火器、スーパージャーなどを製造。
- 三郷金属工業株式会社 (常設展示中)
コイン電池の端子溶接 (薄板レーザー溶接) は世界レベル。
- 近畿刃物工業株式会社 (常設展示中)
段ボール用スリッター、スロッターと呼ばれる刃物を製造。
- マルチエクスコム株式会社 (門真市企業)
自動車用途等のプラスチックブロー成形が主体事業。
- 大日運輸株式会社 (門真市企業)
運送業のノウハウを活用し建材加工分野へ進出。



交流会もすれ違うのにやっとの盛況ぶり。製造業同士のPR合戦はどこまでもつづく。

5/21 UP DATE

今後の予定 7/13(月),24(金) 8/5(水),20(木)

詳しい内容、場所などはMOBIOのwebで
http://www.m-osaka.com/